

県立病院ではたらく仲間をつなぐ

2022. 1. 17

病院組合ニュース

No.139

愛知県病院事業庁職員組合
〒460-0001 名古屋市中区三の丸3-2-1
愛知県東大手庁舎内
電話(052)212-8031 FAX(フアックス)0120-930-340
メールアドレス byoin@aichikenshoku.gr.jp
発行責任者 谷口和希

日本母親大会in沖縄

オンラインで1万2千人とつながり、 熱い訴えが飛び交う！

病院組合では、毎年、多数の組合員の方に各種集会等へ参加していただき、その参加レポートを組合員の皆様に報告しています。

今回、2020年に開催予定でありながら新型コロナウイルスの影響で延期となりました「第66回日本母親大会in沖縄」がオンライン開催と形を変えて開催され(11月13日)、病院組合から1名の組合員が参加しました。

「第66回

日本母親大会

in 沖縄」に

参加して

精神医療センター

岡田 さゆり

昨年沖縄で開催予定だった日本母親大会がコロナの影響で今年も沖縄で開催できず各地でオンラインとなった。毎年母親大会への動員数は日本全国から数千人で、会場となった地は最寄駅から道中、

会場が女性で埋め尽くされその光景は女性のものすごい強さを感じるものだ。

今回初めての試みであるオンライン開催で、こじんまりとしたものとなったが、オンラインで日本全国と結ばれやはり熱い訴えが飛び交っていた。

今回の沖縄は76年前の沖縄戦で4人に1人の島民が犠牲となった島である。戦後27年にわたって沖縄が米軍占

領下におかれたことは女性や子ども、障がい児、障がい者など社会的弱者の生活をより困難なものにした。その背景には社会保障・社会福祉の制度の不備があり沖縄が本土から切り離されてしまったからである。

1947年に制定された児童福祉法は沖縄では6年遅れて制定され、その取り組みはさらに遅れ本土に認可保育園が5千か所造られた時でも沖縄には1か所もなかった。

売春防止法に至っては本土より16年も遅れて制定された。米軍政下、米軍基地の増強とともに基地売春も肥大化されていき米兵による性暴力が横行、長年被害の実態は明かされなかったが、ついに95年の米兵による少女暴行事件以来女性の視点から軍隊の持つ構造的

な暴力を明るみにし戦争反対の主張をしたのである。

母親大会は1954年アメリカの水爆実験から多くの日本人犠牲者が出たことを発端に、平塚らいてうの「日本婦人の訴え」で国際民婦連がさまざまな階層の婦人をどのよう

に団結させるか考えた末にできた大会である。平塚らいてうは「思想、信条、人種の別なく原

子戦争の危険から子ども

上司が勝手に半日にするのはダメ!

12月1日から半日単位の年次休暇が取得できるようになりました。

8月から交渉を続けてきた「半日単位の年次休暇」については、組合員が懸念していた右記のことについて病院事業庁と確認が出来ましたので、11月11日に受け入れることとしました。

・年次休暇は、1日を単位として与える。ただし、職員から請求があった場合には、1時間(対象職員(※)にあっては、半日又は1時間)を単位として与えることができる。(愛知県公報(11月30日)から。一部組合で加工)

※対象職員…常勤職員(本庁職員、育児短時間勤務職員、再任用短時間勤務職員、任期付短時間勤務職員を除く。)

